



わくわくクラブ活動風景

当館を拠点に調査研究をされている(小中学生から大人までの8名の方の調査報告が当館2階で行われました

市民協働で毎月実施している「自然遊学館わくわくクラブ」は多くの方(年少から80代まで)が参加されています。自然生態園の生物調査や保全活動、夏季休業中などは離れた地域へも調査にいきます。会費もなく気軽に参加できます。詳細は貝塚 貝塚市立自然遊学館 072-431-8457 へお問い合わせください。

5月6月7月の行事 などの開催案内

5月10日(土) 新緑のブナ林観察 国の天然記念物と泉葛城山山頂での観察会 (EXPO 2025 共創チャレンジ)

5月10日(土) 関空の護岸とアマモ場 EXPO 2025 大阪ヘルスケアパビリオン会場 展示解説

5月11日(日) 自然生態園作業と生物調べ (時間等電話で確認下さい 申し込み不要)

5月11日(日) 蟲神器大会 13時30分より当館2F 問い合わせは muimui.otabe@gmail.com へ

5月17日(土) 未来をつなぐ貝塚 EXPODAY 日本紙工(株)とのワークショップ ギャラリーWEST 会場

5月17日(日) 渚の生きもの(近木川河口)兼国交省大阪湾一斉調査 (EXPO 2025 共創チャレンジ)

6月8日(日) 自然生態園作業と生物調べ (時間等電話で確認下さい 申し込み不要)

6月8日(日) 世界海洋デー 海辺の昆虫を調べてみよう! 二色の浜の昆虫

6月14日(土) 二色の浜稚魚放流(大阪湾栽培漁業センター共催) (EXPO 2025 共創チャレンジ)

7月6日(日) 二色の浜アマモ場の生きもの観察 (EXPO 2025 共創チャレンジ)

7月19日(日) 夏期企画展 「大阪湾のスナメリ」 ～ 8月31日

7月26日(土) せんごくの杜 夜の昆虫採集

メールで申込の際は、住所(市町村名まで、番地以下は不要)参加される方の全員のお名前・年齢をご記入いただき、shizen.desk@icloud.com (このページの下メールアドレスのQRコードがあります)までお願いします。抽選による参加の可否につきましては、締め切り後の抽選の結果を代表の方にお知らせします。



行事申込メール



Instagram



YouTube



ホームページ



貝塚市立自然遊学館
Kaizuka City Museum of Natural History

〒597-0091 大阪府貝塚市二色3丁目26-1

TEL 072-431-8457 FAX 072-341-8458

ISSN 2185-9817

自然遊学館だより



JAPAN MUSEUM

登録博物館

Vol.113

2025.5



ヨコヤマヒゲナガカミキリ

Dolichoprosopus yokoyamai (Gressitt, 1937)

ブナの林に生息し、幼虫はブナの生木を食樹とします。ブナ林のカミキリムシを代表する種で、ブナ林の環境が悪化すれば激減します。

京都府(絶滅危惧種)、奈良県(注目種)、和歌山県(準絶滅危惧)など

2025年3月20日開催の自然遊学館調査報告会で佐々木 仁氏(貝塚市)より、「和泉葛城山国の天然記念物ブナ林及びその周辺の カミキリムシ」が報告されました。(P. 1-2 佐々木仁氏撮影)

和泉葛城山に生きるカミキリムシ

セダカコブヤハズカミキリ *Parechthistatus gibber* (Bates, 1873) 大阪府レッドリスト準絶滅危惧
後ろばねが退化して飛ぶことができません。
前ばねは堅く盛り上がっています。



ミドリカミキリ *Chloridolum viride* (Thomson, 1864)
金属色の光沢で、名前の通り緑を基調にオレンジ、
黄赤に青っぽい等いろいろな色のものが見られます。



ニニセリンゴカミキリ *Oberia Mixta* Bates, 1873
頭部と前ばねは黒色で、その間にある前胸部が
橙黄色の綺麗なカミキリで、成虫は5～8月に見
られ、常緑つる性のスイカズラの葉脈を食べます。
その食跡が特徴的です。



ルリボシカミキリ *Rosalia batesi* Harold, 1877
大阪府レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類 体色が鮮
かなブルーで触角は節ごとに青と黒に色分けさ
れ、黒色部は短毛の束で膨らんで見えます。



ヤノトラカミキリ *Xylotrechus yanoi* Gressitt, 1934
蜂に擬態したカミキリムシの一種で、前ばね
の細いハの字のスジと大きなひし形の黄色紋
が特徴的です。



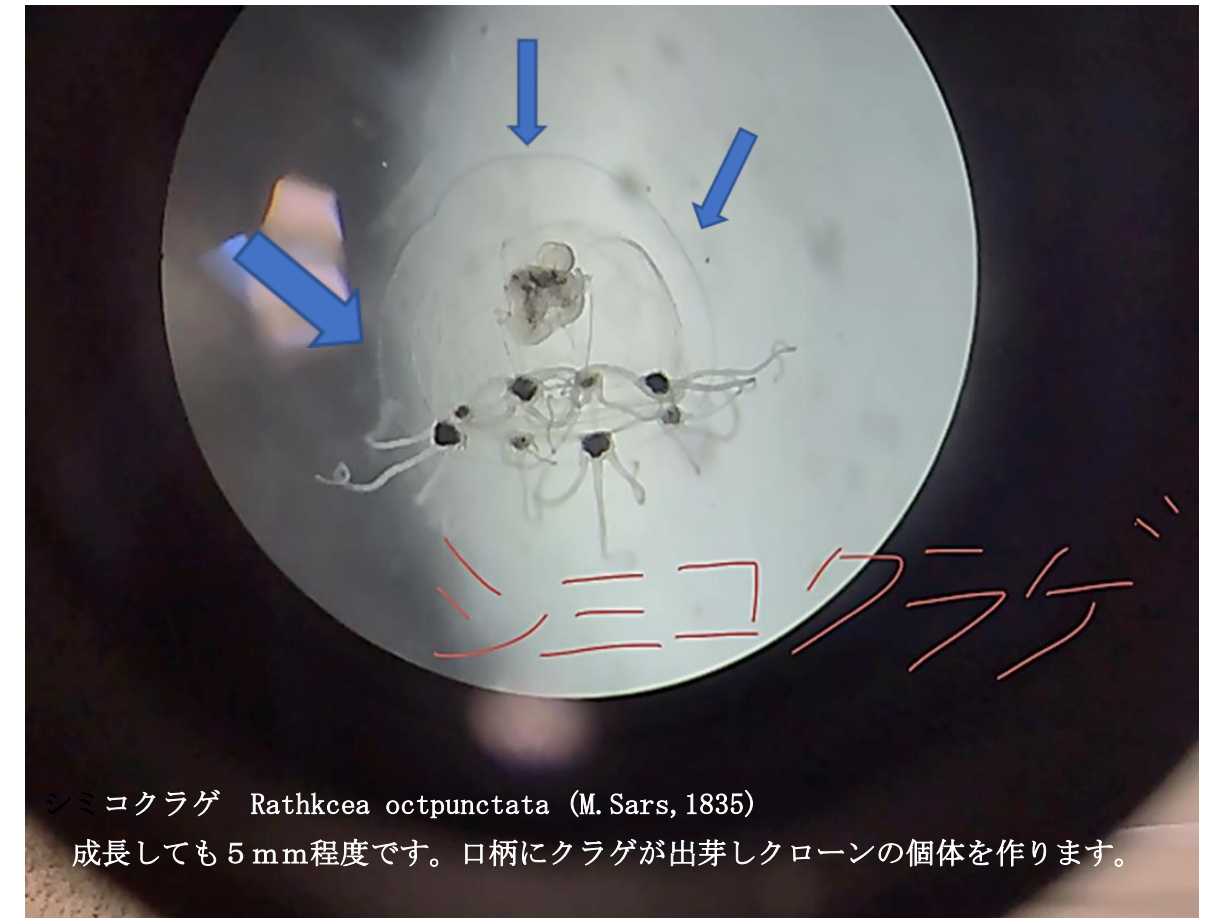
ヒトオビチビカミキリ
Sybra Unifasciata Fujimura, 1956 自然度の高い
広葉樹林の倒木や伐採木などで希に発見されます。
主にコナラなどの広葉樹のほかに針葉樹のモミを
食樹した記録もあります。



出前講座 「プランクトンネットで取ったプランクトンを観察しよう」

津田小学校6年生

貝塚市の津田小学校6年のみなさんのプランクトン観察会で、プランクトンネットを使って
二色の浜の突堤でプランクトン採取をしました。各自手持ちの iPad で写真を撮り記録しまし
た。※傘の部分が見えにくいので周囲を↓(矢印)で示しています。



シニコクラゲ *Rathkcea octpunctata* (M. Sars, 1835)
成長しても5mm程度です。口柄にクラゲが出芽しクロンの個体を作ります。

自然生態園にまたもや冬尺蛾(ふゆしゃくが)が飛来



2025年2月16日、市民の森内にある自然生態園でクロテンフユシャクのオスが見つかりました。
冬の昆虫の代名詞でもある冬尺のメスは夜空を羽ばたける翅(小さく退化)をもっていません。どのよう
にしてオスと出会うのかといえば、メスが腹部の先
からフェロモンを放出する“コーリング”という行
動で、オスが飛んでくるのを待っているのです。2
022年及び2023年2月にシロフフユエダシャ
クのオスにつづく2種目となります。クロテンフユ
シャクは1996年3月に貝塚市の大川で、やはりオスが採集されています。飛ばないメスはやは
り見つけるのが大変です。

しかし、この埋め立ての地にどのようにして分布を広げてくるのか、不思議でなりません。その
ためには、飛翔できるオスだけでなく、飛ばないメスを見つける必要があります。